

## スポーツ柔整

### ◆ Tokyo 2020 オリンピック・パラリンピックの活動報告

座長：筑波大学 体育系 白木 仁

演題①：筑波大学 体育系 白木 仁

演題②：東京柔道整復専門学校 栖原 弘和

演題③：国立スポーツ科学センター 鈴木 章

【key words】医療サポート、アスリート、コンディショニング、オリンピック、パラリンピック

#### 【Abstract】

演題①：Tokyo 2020 ゴルフ競技会場における医療サポート 演題②：Tokyo2020 ゴルフ競技におけるアスリートサポート 演題③：Tokyo 2020 日本選手団に対するコンディショニングサポート 演題①では、Tokyo 2020 ゴルフ競技会場にて実施された医療サポートに関して報告する。演題②では、Tokyo 2020 ゴルフ競技に出場したアスリートに対して実施したコンディショニングに関して報告する。また、演題③に関する要旨を以下に記述する。2020年7月24日～8月9日に開催予定であった第32回オリンピック競技大会、8月25日から9月6日に開催予定であった東京2020パラリンピック競技大会(以下、東京2020大会)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い1年延期となった。東京都に緊急事態宣言も発令され、ハイパフォーマンススポーツセンター(以下、HPSC)は閉館となった。HPSCは国立スポーツ科学センター(以下、JISS)と味の素ナショナルトレーニングセンター WEST・EAST(以下、NTC)があり、これら施設はトップアスリートの競技練習場やトレーニング、コンディショニングといった競技力向上には欠かせない施設である。東京2020大会の1年前にこの施設が得体の知れないウイルスによって閉館したことはトップアスリートにとっては大きな影響があった。しかし、2021年7月23日から開幕した東京2020大会では、日本はオリンピックでは総メダル獲得数58個(金27個、銀14個、銅17)、パラリンピックでは総メダル獲得数51個(金13個、銀15個、銅23個)と大活躍であった。今回は東京2020大会における日本選手団のサポートについて報告する。